

## 2015年度 災害研修開催要項

災害時には多くの地域住民が安全と安心と情報を求めて医療機関に殺到します。その際、病院窓口では、治療対象者か否かの振り分けを的確にしていかなないと、病院機能が混乱によって麻痺してしまいます。

そのため、今回は災害の様相について改めて再確認しつつ、災害医療では常識となり、一般にも浸透しつつあるトリアージについて学ぶ場を設定しました。

医療機関に所属するMSWであっても、病院機能を維持するためにトリアージおよび start 法について学んでおくことは、自らの混乱を予防し、適切な対応が何かを考えさせる要素になると考えられます。

急性期や療養などの病院機能の枠や、在宅や施設などの所属機関の属性は、災害支援には関係ありません。その場にいる自分が、その時に何を見て、何を考え、何を行うのかを考えるための準備を一緒にしていきましょう。

### 【START 法 (simple triage and rapid treatment)】

特に救助者に対し傷病者の数が多いという場合に対応できるよう、判定基準を出来るだけ客観的かつ簡素にしたトリアージ法。歩行→呼吸→循環→意識の確認を行い1人の傷病者を30秒程度で判定する方法。

**日 時：**平成28年3月27日(日) 10:00~12:00 (受付9:30~)

**場 所：**大分県社会福祉介護研修センター

〒870-0161 大分県大分市明野東3丁目4番1号

TEL (097) 552-6888

**内 容：**『災害とは(概論と実際)』(15分)

大分県医療ソーシャルワーカー協会 災害支援部担当理事 徳丸茂史

『トリアージ及び start 法』(90分)

大分赤十字病院 救急部看護師長 小田原 千春(おだわら ちはる)

(日本DMAT隊員 大分DMATインストラクター)

『被災マップの提示及びマニュアル作成についての報告』(15分)

大分県医療ソーシャルワーカー協会 災害支援部

**対 象：**大分県医療ソーシャルワーカー協会会員、社会福祉士、精神保健福祉士、その他医療・福祉関係者、学生等

**参加費：**500円

**定 員：**150名

**お問い合わせ先：** 大分赤十字病院 社会課 徳丸 茂史 097-532-6181

**申 込 み 先：** 有料老人ホームはやの里 園田 淳司

